

2023年2月2日

令和四年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式（スリナム）

2023年2月2日（木）、スリナム・パラマリボの外務・国際ビジネス・国際協力省において、草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）の署名式が行われ、スリナムの2つの団体が贈与契約書に署名しました。

「子ども及び脆弱層の栄養環境改善計画」（162,950米ドル）は、「農業協同組合 私たちスリナムの女性」が実施します。本事業では、キャッサバ製品の加工工程を自動化するとともに、食品検査装置を整備します。これにより同組合は、内陸部の乳児やその他脆弱層に、栄養価の高いキャッサバ粥を提供できるようになります。

「女性のための研修施設改修計画」（67,196米ドル）は、「全国女性運動財団(NVB)」が実施します。本事業では、女性のための訓練施設を改修することで、生活再建を目指す女性たちに、短期および長期の職業訓練を安全かつ快適な環境で提供することができるようになります。

署名式には、松原裕日本大使、エリザベス・ブラッドリー外務・国際ビジネス・国際協力省次官、ジャヤント・ア Nilクマー・パダラート在パラマリボ日本名誉総領事、ターニャ・リュウ・ア・スー私たちスリナムの女性代表、エリネ・グラノーグトNVB代表、その他関係者が出席しました。

松原大使は、日本は長年にわたりスリナムの経済社会発展のため、様々な支援を通してスリナム政府及び国民と協力してきたと述べました。また、両事業はいずれも、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に沿ったものであり、「誰一人として取り残さない」ために重要な事業であると強調しました。

リュウ・ア・スー代表は、私たちスリナムの女性は、自己発展と自立という価値観を基礎に、食料安全保障の問題に対処するため、自分たちで解決策を模索してきたと説明しました。また、本支援により、十分なサービスを受けられない地域の子どもたちが、栄養価の高い食品を入手できるようになると感謝の意を述べました。

グラノーグト代表は、本事業に対する日本政府及び国民の支援に感謝し、本支援は、社会的に恵まれない女性、苦境にある女性、家庭内暴力などを経験した女性の福祉向上に寄与すると述べました。

日本政府は、カリブ諸国の安定と繁栄のため、防災、環境、エネルギー、廃棄物管理、水産業等の様々な分野における支援を継続し、カリブ諸国との協力的かつ友好的な関係を更に発展させていきます。



(左から右) パダラート名誉総領事、グラノーグト NVB 代表、松原大使、リュウ・ア・スー
私たちスリナムの女性代表



全国女性運動財団（NVB）、私たちスリナムの女性、外務・国際ビジネス・国際協力省、内務省、日本大使館の参加者



松原大使によるスピーチ